

第18回 2021年度

小学生のぼうさい探検隊 マップコンクール

入選作品集



第18回

2021年度

小学生のぼうさい探検隊マップコンクール

CONTENTS

● 審査の様子	2P	● 入選作品紹介	6P
● 審査基準および応募作品の傾向	3P	● 応募状況	31P
● 審査総評	4P	● 過去の入選作品	34P

入選一覧

- 文部科学大臣賞
愛媛県宇和島市立奥南小学校
「板の浦・中浦なかよし組」(3~6年生/愛媛県)
- 防災担当大臣賞
はちぶせ探検隊
「みんなの命をつなぎ隊 谷瀬三兄弟」(1、4、6年生/和歌山県)
- 消防庁長官賞
高知県長岡郡本山町立本山小学校
「本山町土砂災害なくし隊」(6年生/高知県)
- まちのぼうさいキッズ賞(日本ユネスコ国内委員会会長賞)
Kids Creation Afterschool
「Kids Creation TSUKUBA ぼうさい探検隊」(1~4、6年生/茨城県)
- 気象庁長官賞
公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ
「みんなのためにがんばる!子どもリーダー」(1~3年生/神奈川県)
- キッズリスクアドバイザー賞(日本損害保険代理業協会賞)
ひとよし防災ワクワク組「ひとよし防災ワクワク組」(1、2、4年生/熊本県)
- 未来へのまちづくり賞(朝日新聞社賞)
西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ
「こすもす探検隊」(4年生/福島県)
- わがまち再発見賞(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)
福井県小浜市立雲浜小学校
「チームうんぴん」(4年生/福井県)
- ぼうさい探検隊賞(日本損害保険協会賞)
北海道奥尻町立青苗小学校
「青苗小3・4年ぼうさいキッズ」(3、4年生/北海道)
- 審査員特別賞
北海道札幌南区川沿少年消防クラブ
「川沿未来レスキュー隊」(3~6年生/北海道)
中里放課後子ども教室「中里放課後子ども教室」(4年生/岩手県)
相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ
「かもめ探検隊」(3年生/福島県)
レンジャー探検隊「レンジャー探検隊」(6年生/茨城県)
かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会
「地域の皆を守り隊」(6年生/石川県)
かほく市子ども会 宇ノ気支部 栄町子ども会
「栄町キッズレンジャー」(5、6年生/石川県)
沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター
「スマイル探検隊」(3、5年生/沖縄県)
北山学童「みんながたいせつ守り隊」(4年生/沖縄県)
- デジタルマップ特別賞
THE OBATA「THE OBATA」(6年生/愛知県)
ガールスカウト神奈川第53団
「GS KANAGAWA 53 2班」(4、6年生/神奈川県)
いまいずみ児童クラブ
「いずみっこanzen洪水チーム」(3~5年生/静岡県)
鳥羽市安楽島子ども会
「安楽島キッズ探検隊」(1~5年生、幼児/三重県)
沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ
「防災キッズレインボー探検隊」(2、3年生/沖縄県)

ごあいさつ



みな 皆さん、こんにちは。にほんそんかい ほけんきょうかいかいちょう ふなびき たんけんたい
主権者を代表して、ご挨拶申し上げます。

まず、コンクールに入賞された皆さん、おめでとうございます。また、たくさんの素晴らしい作品を
ありがとうございました。

今回、全国の371もの小学校や児童館などから、5,697人が参加し、971点の作品をご応募い
ただきました。学んだことを周りの人に伝えるための工夫を取り入れたものから、より良いまちにするに
はどうしたらよいかを提言するものまで、多くの力作を楽しく見せていただきました。自分たちのまち

を観察したことで気づいた、身の回りにかくれているいろいろな危険について、分かりやすく地図に描いてくれた皆さんの豊か
な表現力にも感心しました。

参加者が作品をつくる過程で気付いたことを自治体などに伝えて、まちの危険な場所が改善された例もあります。皆さんの
「ぼうさい探検隊」を通じて、住むまちがより安心で安全なものになっていることをうれしく思います。

今から10年前、東日本大震災というとても大きな地震があり、多くの大切な命が失われ、大変な被害が発生しました。日本
は、世界で最も多く自然災害が発生する国の一つです。大きな災害が来ることを予測して、しっかりと準備していくことがとても大
切です。今回皆さんが発見したことを、ぜひ、ご家族やお友達、近所の方々にも伝えていってください。私たち大人も、皆さん
と一緒に、安心して安全なまちづくりに取り組んでいきます。

さて、指導にあられた先生方、団体の皆さま、そして保護者の皆さま、「ぼうさい探検隊」の実施にあたり、ご支援・ご協
力をいただき、誠にありがとうございました。コロナ禍での実施が難しい中であるにもかかわらず、素晴らしい作品を多数応募いた
だきましたのは、皆さまのご協力とご支援のおかげです。

応募作品のうち、350作品が損保協会のオリジナルタブレットを活用して作成された「デジタルマップ作品」でした。タブレット
を使うことで、まち探検からマップ発表までの一連の活動をスムーズに実施できるほか、ICT教育の一環にもなるとの声もい
ただいており、大変ありがたく思っています。

東日本大震災から10年という節目を迎え、また、甚大な自然災害が頻繁に発生する状況において、災害伝承を含む防
災教育の重要性は増すばかりです。今後も、「ぼうさい探検隊」の取り組みが安心・安全な地域社会の実現につながることを
祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

いっぼんしゃだんほうじん にほんそんかいほけんきょうかい
一般社団法人 日本損害保険協会

会 長 船 曳 真 一 郎

(2022年1月28日 主催者代表挨拶より)



「ぼうさい探検隊」とは…

子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災・防犯・交通安全の施設や設備を発見し
てマップにまとめる活動のことで、マップ作成後は、発表を通して活動を振り返り、学んだことを
皆で共有します。子どもたちの「安心・安全」への意識が高まるだけでなく、まさに「地域ぐるみの
安全“共有”」が着実に深まり、コミュニティの強化にもつながります。

主催 日本損害保険協会/朝日新聞社/日本災害救援ボランティアネットワーク

後援 内閣府/文部科学省/警察庁/消防庁/気象庁/UNESCO/日本ユネスコ国内委員会/日本ユネスコ協会連盟/
全国都道府県教育委員会連合会/沖縄県/アジア防災センター/児童健全育成推進財団/日本損害保険代理業協会/
ボーイスカウト日本連盟/ガールスカウト日本連盟/NHK/福岡県

審査の様子

2021年度のコンクールには、全国47都道府県の小学校や子ども会・児童館・少年消防クラブなど、371団体から5,697人の児童が参加し、971作品が寄せられました。第1回から第18回までの参加人数は、累計21万2千人を超えました。

審査員の方々から、「どの作品にもそれぞれすばらしい視点があって、甲乙つけがたい」「どの作品からも、児童と地域の方々との繋がりがひしひしと伝わってきて、選出がとても難しい」などの感想が寄せられました。



事務局審査：2021年9月24日(金)～11月10日(水)
 第一次審査：2021年11月18日(木)
 本審査：2021年12月6日(月)
 結果発表：2021年12月17日(金)



室崎 益輝 氏 神戸大学名誉教授・兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長
 森本 晋也 氏 文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育調査官
 萩原 玲子 氏 内閣府 政策統括官(防災担当)付企画官(普及啓発・連携担当)
 藤ノ木大祐 氏 総務省消防庁 国民保護・防災部防災課 地域防災室 理事官
 堀尾 多香 氏 文部科学省 国際統括官付(日本ユネスコ国内委員会事務局) 国際統括官補佐
 佐藤 豊 氏 気象庁 総務部 企画課 地域防災企画室長
 大谷 隆 氏 一般社団法人日本損害保険代理業協会 特命部長
 石神 和美 氏 株式会社 朝日新聞社CSR担当補佐兼 CSR推進部長
 寺本 弘伸 氏 特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事
 伊豆原 孝 氏 一般社団法人日本損害保険協会 常務理事

審査基準および応募作品の傾向

審査基準

提案性(子どもの視点でのまちへの提案や、地域改善へ向けた気づき・提言)

- 子どもならではの発見やまちへの提言が書かれているか
- マップを通して伝えたいことが明確になっているか

教育効果性(子どもたちの防災・防犯・交通安全意識の変化、地域への愛着・関心の醸成)

- マップを作成するにあたり、しっかり地域を調べているか
- 地域住民とのコミュニケーションなどにより、多くの人から学んだ姿勢が見えるか

地域性・テーマ性(地域固有の災害特性や問題点、まちの様子や特徴)

- 地域の災害や危険な場所を想定した作品作りができているか
- 地域災害の特性や問題点などが明確になっているか

ビジュアル性(地図として見やすく、情報を簡潔に伝えるための工夫)

※紙作品のみ

- 色や写真、イラストを効果的に使用しているか
- 多くの人に見やすく、わかりやすい作品になっているか

専門家ならではの観点での評価 ※デジタルマップ(タブレット)作品のみ

- 単に安全・危険だけでなく、写真の場所を説明するコメント(高い塀がある、信号機がないなど)が記載されているか
- 実際に発見したものや場所を記載するだけでなく、コメント欄に発見したものや場所に対する子どもたちの感想や考えなどが一緒に記載されているか
- 指導者が子どもたちの言動や思いをしっかりと把握し、作品紹介用紙に記入しているか

提案性

- 通学路や公園で、ベンチや石垣の修繕、ガードレール、街灯や注意を促す看板の設置などを提案する作品が見受けられた。
- 避難経路の整備や施設の耐震化、災害時用自動販売機の設置、避難所の新設などを行政に提案している作品が多くあった。

- 新型コロナウイルス感染症対策を考慮した避難所運営マニュアルの作成や避難訓練、乳幼児・高齢者・障がい者・妊娠中の女性用備蓄品の備蓄計画の見直しを提案する作品が見受けられた。

教育効果性

- 調べた内容を表やグラフにまとめたり、標語を掲示してマップを見た人に注意を促すことで、自分たち以外の人に分かりやすく伝えようと工夫している作品が多くあった。

- あらためて防災についての発見があったり、自発的に考えるきっかけになったりなど、子どもたちの防災意識の向上に繋がる作品が多くあった。

地域性・テーマ性

【防災】

- 東日本大震災などの過去に発生した自然災害の被害状況やその災害を経験した人々の感想や行動を調査したうえで、今後の防災対策に役立つようマップにまとめる作品が多くあった。
- 新型コロナウイルス感染症や2021年に多発した土砂災害など、ニュースで取り上げられたトピックスも踏まえ、土砂災害発生時の仕組みや土砂災害時の避難方法についてまとめた作品もあった。

【防犯】

- 子ども110番の家などの安全な場所や死角となる危険な場所を調べ、マップにまとめた作品が多くあった。田んぼが多く、商店や民家が少ない地域では、警察に相談して子どもたちにとって安全な場所をマップに記載した作品もあった。

- 「い・か・の・お・す・し」(※)を紹介している作品が多くあった。
※防犯標語「ついていけない」「車にのらない」「おおごえを出す」「すぐ逃げる」「大人の人にしらせる」のこと

【交通安全】

- 地域の危険な場所を調べ、さらに、交通量などの情報はグラフにして視覚的に訴える工夫がされている作品が多くあった。交通安全に対する意識をアンケートし、表にまとめて注意喚起している作品もあった。
- どのように行動すれば交通事故に遭わずに過ごせるかを子どもたちの目線で考え、マップに記載している作品が多くあった。
- 地域の交差点などを図解して、どのような危険が潜んでいるかを示している作品もあった。

ビジュアル性

- 何を学び、何を伝えようとしているマップなのかを文字とデザインで伝えるよう工夫している作品が多く見受けられた。
- 調査内容をグラフや表にする、「安全な場所・危険な場所」や海拔や標高などの違いを色分けするといった工夫により、視覚的に内容が伝わるようにしている作品が多数あった。

- 手作り防災グッズの作り方を文字だけでなく、イラストを組み合わせてることにより、わかりやすく表現している作品が多く見受けられた。

審査総評



審査員長
室崎 益輝 氏
神戸大学 名誉教授
兵庫県立大学
大学院減災復興政策研究科長

今年もコロナ禍にあり、まち探検の実施が難しい中でしたが、オンラインインタビューといった今までにない情報の聞き出し方や、コロナ禍の中での避難をどうするのかを調べ、提言をした作品が多くありました。また、過去に発生した災害の教訓を明らかにし、未来に伝えるという作品も多く、マップ作りの方法がさらに発展したと思います。その他、今まであまりなかったイノシシやクマなどの獣の害について取りまとめた作品もありました。作品の幅が非常に広がり、子どもたちがしっかり現実を踏まえた中で新しい提案を出し、安心・安全のために自ら行動するという形になってきたのが今年の特徴ではないかと思います。

愛媛県の宇和島市立奥南小学校の作品は、全体として非常にバランスが取れており、調査した内容、調査を踏まえた提言やその方向の糸口がしっかり書かれています。特に、子ども目線ですばらしい提案があり、その中の1つは車での避難です。高齢化社会が進んでお年寄りが急な坂を登ることは非常に難しいことを子どもながらに理解しています。渋滞が起きない広い道を使って遠回りでもいいから車で避難というような斬新な提案をされている点が評価できます。また、道端の小石を片付けておこう、枯れ草をきれいに刈っておこう、避難の標識だと分かるようなものを作ろうといった、自分たちでできることを提案している点が素晴らしいです。

和歌山県のはちぶせ探検隊の作品は、10年前の紀伊半島大水害の教訓を明らかにし、色んな教訓を見つけて出して

る作品となっています。例えば、お年寄りをみんなで助け合おうという点や、避難場所を自分たちで探して、できるだけ近くの避難場所を自分たちで決めようという点が意識されていることがうかがえます。テーマ自身が「僕たちの安全地帯」なので、子ども目線で本当に安全なところを探してきて、そこに早く逃げようというような提案が評価できる作品です。

高知県の長岡郡本山町立本山小学校の作品は、過去のマップで問題とされていた箇所が本当に改善されたかを見直している点が素晴らしいです。街灯や手すりの設置、山の砂防工事により、安全になったところがあります。その一方で、過去にマップを作った時と同じで危険な状態のまま放置されている問題点もあるので、きちんと改善してほしいというメッセージが伝えられています。加えて、現在の問題点を新たに発見しています。特に、土砂災害に着目して、山の崖崩れの危険性などを確認して提案することで、責任を持って自分たちのまちを良くしていこうという姿勢が示されている作品です。

茨城県のKids Creation Afterschoolの作品は、外国人の方が多地域ということもあり、避難情報を、外国人も含めて市民のみなさんに分かりやすく伝えたいという動機からスタートしています。ピクトグラムという絵文字を作り、見るだけで意味が分かるマップを作って必要なところにきちんと設置していこうという提案になっています。緊急時の避難場所なのか、避難生活をするための避難所なのか、という違いなどをしっかり調べ、どういう絵文字を設置したらいいのかを記した新しい時代にふさわしい提案をしている作品です。

神奈川県公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザの作品は、「土砂災害や雨によって山が崩れるという災害にどう備えればいいのか」ということに対して、総合的に答えを出したものだと言えます。土砂災害のメカニズムを丹念に調べ、危険な箇所を発見してい

ます。それを踏まえて土砂災害が起きた時どうするのか、起きないようにするにはどうすればいいのか、という提案を小学生という目線から考えています。メカニズムの理解から危険箇所の調査、さらにそれを踏まえて対策・提案が示されているという意味で、土砂災害を全般的にとらえた作品として評価できます。

熊本県のひとよし防災ワクワク組の作品は、令和2年7月豪雨によって、熊本県人吉市やその周辺の球磨川流域で発生した大きな被害に直面した児童が、二度とこんな悲しいことを繰り返したくないという思いから、どうすれば安全にみんなの命を助けられるのかという思いをまとめた作品です。お年寄りや体の不自由な人を助けつつ、自分たちも助かるんだというメッセージなどは非常に心を打つと思っています。人吉にあるお寺や神社の皆さんにヒアリングし、被災して亡くなられた方がいた原因を調べて、また同じような事が起きてはいけないという思いがにじみ出ているすばらしい作品です。

福島県の西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブの作品は、2021年2月に福島県で地震が起きたことを発端に、地震の原因は断層があるからだということに気がつき、まずは断層についてしっかり勉強しています。それを踏まえて、「防災サンバ」という曲を作り、振り付けを児童たちが考えて、地震対策について学んでいます。さらに、近くの幼稚園に行き、園児たちと一緒に踊るなど、下の年代の子どもたちに教育しているところがすばらしいです。

福井県のお浜市立雲浜小学校の作品は、津波対策を取り上げています。避難する場所の高さを、立体的な模型を作ることで、目で見て高さが分かるような地図を作っているところがすばらしいです。また、実際に避難する際の時間を、地図と紐を使って、そこに行くまで何分必要か分かるようにしており、まさに体で感じるような仕掛けをマップの中

に取り入れていることも評価できます。そのほか、1年生の低学年の皆さんに「津波が来たらどうなるか、どうすれば津波から守れるか」を読み聞かせ、災害伝承の取り組みをしているところが評価できます。

北海道の奥尻町立青苗小学校の作品は、28年前の北海道南西沖地震により、津波で多くの建物が流され、大きな火災が起きるなどの被害があった地域のもので、当時被災した方々のまさに次の世代である小学生が、28年前の震災の体験を学び、今後起こり得る災害への備えをしていくという作品となっています。次に津波がきた時はこうしなければならぬ、という提案をしています。震災を語り継ぐ、その担い手の中心に小学生がなっているという意味で評価できます。

審査員特別賞の8作品につきましても、非常にレベルが高く、いつも審査員たちは、選考にすごく悩みます。決して入選作品よりレベルが低いということではなく、同等のすばらしい作品だにご理解ください。コロナ禍での災害への備え方を提案したような作品や非常にユニークで斬新な作品がたくさん含まれていたことをお伝えしたいと思います。

デジタルマップについて、まちの中を歩いて危険な箇所を発見し、改善の方策を考えるという取り組み自体は、紙マップで絵を描く取り組みと全く同じだと思います。その中で、デジタルマップは新しい技術、タブレットを持って危険な箇所を発見して写真に撮り、記録する現代の技術を生かした取り組みです。児童たちはデジタルマップの中でも、きちんと1つ1つの写真についてコメントを付けており、土砂災害の危険性をどう考えて危険だと判断したかという理由を記し、どうすれば改善できるのかという対策が提示されているものが多かったです。デジタルマップ特別賞の5作品は、単に記録するだけではなく、安全で安心な社会を作ろうという意味がにじみ出た作品が非常に多かったと思います。





も ん ぶ か が く だ い じ ん し ょ う

文部科学大臣賞

愛媛県

え ひ め け ん う わ じ ま し り つ お く な し ょ う が っ こ う

愛媛県宇和島市立奥南小学校

い た う ら な か う ら ぐ み

「板の浦・中浦なかよし組」

学年 3～6年生 人数 5人 防災



● チームの児童のみなさん

入選するとは思わなかったので聞いたときは、本当かなと思いました。防災さんぽで地域の方と一緒に歩き、発見したことをマップに表しました。みんなで手作りの看板を立てたので、地域の方の役に立ったらうれしいです。

● 指導された 森分 芳子 さん

全校で防災マップに取り組んで2年目でこのような素晴らしい賞をいただき大変うれしく思います。マップ作りを通して、子どもたちの防災意識は高まってきました。これからも地域とともに防災について考えていきたいと思っています。

評価されたポイント

てい あん せい 提案性

市指定の津波一次避難場所を探検し、山道が歩きにくいこと、看板がなく分かりにくいこと、危険な場所の近くに防災倉庫が設置されていることなどを発見し、防災上の課題およびその改善について、子どもならではの目線で提案している。

きょういくこう か せい 教育効果性

自分たちにできることを考え、自らが作成した避難場所の案内看板を設置することについて、地域に提案して実現してもらおうなど、防災意識の高まりが感じられる。

ち いきせい せい 地域性・テーマ性

海と山に挟まれ、津波の危険があり、2018年の豪雨災害で土砂災害などの被害を受けた地域であるといった特徴を踏まえ、防災上の課題がきちんと捉えられている。

せい ビジュアル性

地図を大きく配置し、凡例の位置や表示も見やすく工夫されており、地域の課題だけでなく、自分たちが考えた提言を分かりやすく記している。また、学校からの避難ルート紹介には、写真や彩りに工夫がみられる。





ぼうさいたんとうだいじんしょう 防災担当大臣賞

和歌山県

はちぶせ探検隊 「みんなの命をつなぎ隊 谷瀬三兄弟」

学年 1,4,6年生 人数 3人 防災

場所名	総面積	徒歩時間	特徴
1 蜂伏会館 (指定避難所)	25.7	29分	5分
2 カワハク公園
3 宝珠寺
4 市民運動競技場

高台

- 1 学童保育「実」 21.4 600 8分
- 2 みくまの支援学校 22.2 650 10分
- 3 新翔高校 8.6 1km 12分
- 4 医療センター 71.4 1.1km 14分

ぼくたちの家

大雨や台風が来たら、避難場所へ逃げよう。

避難所までのルートを確認しよう。

避難所には、お水やお食料が用意されています。

避難所には、お風呂やトイレも完備されています。

避難所には、お風呂やトイレも完備されています。

避難所には、お風呂やトイレも完備されています。

Voice よろこ 喜びの声

- チームの児童のみなさん

このマップを作成したことで、自分たちの住んでいる地域の災害リスクを詳しく知ることができました。災害に応じた避難場所を選んで逃げることも大切だとわかりました。みんなで声をかけ合って逃げ時をみのが見逃がさないようにしたいです。
- 指導された 谷瀬 真理子 さん

きいほんとうだいすいがいねん ひさいし 紀伊半島大水害から10年、被災した経験をもとに、地域の特性を知り、いつ起こるかわからない自然災害にも自分の力で立ち向かう力をつけてほしいと、このマップ作りに取り組みました。三兄弟の防災力アップにつながりました。

評価されたポイント

提案性

避難場所までの徒歩時間や標高や距離などを一覧表で紹介し、災害によって逃げる場所が異なることなど避難方法や備えをマップを通して提案している。市の防災課を訪問し、避難経路や避難所・避難場所の安全性を見直してほしいことを提案している。

教育効果性

まちを探検したり、マップを作成したりすることを通して、水害に対する知識を深め、水害から命を守るためには、少しでも早く、高いところへ避難することを学んでいる。

地域性・テーマ性

10年前に紀伊半島大水害を経験している地域で、その被害をどのように伝えていくかという課題意識が感じられる。津波被害が予測されている地域であり、津波の情報も取り入れた水害からの避難をテーマにしたマップになっている。

ビジュアル性

紀伊半島大水害の浸水エリアのシートを作成して、浸水箇所を分かりやすくする工夫がなされている。さらに、河川を立体に作成することで、河川を強調し、水害危険をテーマにしたマップであることが強調されている。





しょうぼうちょうちょうかんしょう 消防庁長官賞

高知県

こうちけんながおかぐんもとやまちょうりつもとやましょうがっこう 高知県長岡郡本山町立本山小学校 もとやまちょうどしゃさいがい 「本山町土砂災害なくし隊」

学年	6年生	人数	11人	防災
----	-----	----	-----	----



● チームの児童のみなさん

今回のマップは「before after」をテーマに作りました。過去8年間先輩が作ってきた財産の力を借りて、フィールドワークやマップ作成を行うことができて良かったです。歴代の6年生みんなで作成させたマップです。

● 指導された岡村大輔さん

地域に対する思いや防災への意識の強さ、学ぶことへの意欲など、今回の活動を通して子どもたちの底力や可能性を改めて感じる事ができました。多くの方に支えられてできたことを忘れず、ただただ子どもたちに「おめでとう」です。

評価されたポイント

てい あん せい 提案性

たなだ う はいけい たなだ ほすい やくわり ぼうさい
 棚田が生まれた背景や棚田のもつ保水の役割が防災に
 やくだ かくにん さいがい とも い ちいき
 役立っていることを確認し、災害と共に生きてきた地域
 してん さくせい とうかい きけん あ
 の視点でマップを作成している。倒壊の危険がある空き
 や てつきよ やくぼ ていげん じぶん
 家の撤去などを役場へ提言することで、自分たちのまち
 よ しせい しめ
 を良くしようという姿勢が示されている。



きょういくこう か せい 教育効果性

か こ さくせい ひかく かいぜん
 過去に作成したマップと比較することで、まちの改善さ
 かしよ き みかいぜん かしよ かいぜん
 れた箇所気づき、未改善となっている箇所は改善して
 あらた はっしん たなだ ぼう
 ほしいと改めてメッセージが発信されている。棚田と防
 さい き じぶん ちいき み
 災のつながりにも気づき、自分たちの地域を見つめなお
 さいがい とも い いしき も
 し、災害と共に生きているという意識を持つきっかけに
 なっている。



ち いきせい せい 地域性・テーマ性

よしの がわりゅういき さんかんぶ あめ おお さいがい はっせい
 吉野川流域の山間部にあり、雨も多く災害も発生しや
 りつち ねん がつ ごううさいがい ひさい
 すい立地である。2018年7月の豪雨災害により被災し
 どしゃさいがい たい ぼうさい いしき たか
 ていることから、土砂災害に対する防災意識の高さが
 うかがえる。



ビジュアル性

び ふ お あ あふたー かいぜんまえ あと ひ
 「before・after」をキーワードにして、改善前と後を比
 かく こうくしゅうへん みち きけん ど おう いろわ
 較し、校区周辺の道を危険度に応じて色分けするなど
 わ ひょうげん しゃしん いと
 分かりやすく表現している。写真とコメントも意図して
 いろわ
 色分けされており、マップを活かせるようにバランス
 はいち
 よく配置されている。





まちのぼうさいキッズ賞

にほん こくない いんかいがいちょうしょう
(日本ユネスコ国内委員会会長賞)

茨城県

Kids Creation Afterschool

「Kids Creation TSUKUBA ぼうさい探検隊」

学年 1~4,6年生 人数 33人 防災

防災にユニバーサルデザインを ピクトグラムのかつようについて考える

ユニバーサルデザイン
ピクトグラム
研究者に質問しました!
つくば市に提言しました!
まとめ
防災探検隊 2つのポイント
感想

Voice よろこ へえ 喜びの声

● チームの児童のみなさん

私たちは「防災は自分の命を守ること。そして大切な人の命を守ること」をスローガンに掲げ、毎年このコンクールを通して防災学習に取り組んでいます。私たちの活動が評価され、受賞できたことがとてもとてもうれしいです。

● 指導された マクマーン由香利 さん

初めての受賞を子どもたちと一緒に心から喜んでいきます。「自分たちのまちは自分たちの手で良くしたい」そんな思いをマップに表現しました。この受賞を励みに、つくばのまちをどうすれば災害から守れるのか、今後も子どもたちと考え続けます。

評価されたポイント

てい あん せい 提案性

まち歩きを通して、地域に設置されている防災標識・避難誘導標識を確認し、その見やすさや、配置などについて改善案を作成している。つくば市役所の危機管理課を訪問し、具体的な改善提案を行っている。

きょういく こう か せい 教育効果性

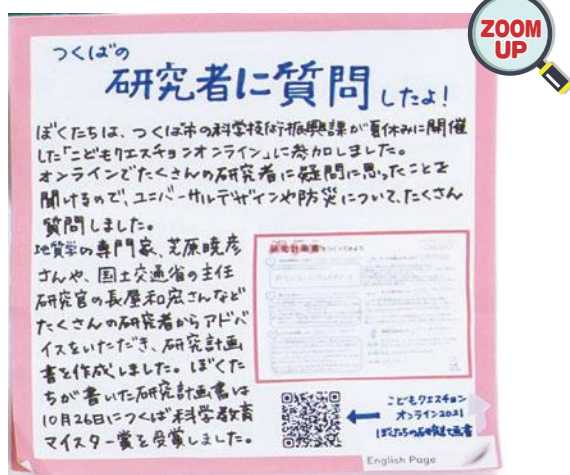
専門家に相談したり、マップ作成後につくば市危機管理課を訪問したりすることで、防災意識が向上したことがうかがえる。また、マップ作りを通して、まちを防災の視点で見ることができるようになり、「自分たちがこのまちを良くするんだ」という意識が芽生えている。

ち いきせい せい 地域性・テーマ性

桜川周辺の浸水ハザードエリア内の避難所は水害時には使用できないこと、転入してきた住民や外国人が多いことなど地区の特徴を踏まえ、防災標識・避難誘導標識に焦点をあてたマップ作りを行っている。

せい ビジュアル性

現在の問題点と改善案を対で示し、問題点のある箇所を赤、青、黄緑の3色で示して一目で分かるよう表示している。また、外国人が多いというまちの特性を踏まえてピクトグラムを使い、日本語と英語で表現するなど工夫が見られる。





き しょう ちょう ちょう かん しょう 気象庁長官賞

神奈川県

こう えき ざい だん ほう じん し みん か つ どう
公益財団法人かわさき市民活動センター

む かい が お か し ょ う が っ こ う
向丘小学校わくわくプラザ
「みんなのためにがんばる!子どもリーダー」

学年	1~3年生	人数	15人	防災
----	-------	----	-----	----



Voice よろこ 喜びの声

● チームの児童のみなさん

なつ あつ 夏で暑かったけれど、みんなできょうりょくして、土砂災害が起きそうなところをみつれたり、いろいろがんばったから、大きな賞になったと思います。勉強になったからがんばったかゝりがありました。大きな賞になって、うれしいです。

● 指導された吉野華代さん

かつ こ 4月の子どもリーダー会議から長期的に計画を立て、子どもたちと取り組ましました。今年も暑い中、最後まで元気にたくさんの興味を持ち調査しました。まちの人と一緒に助け合いたいという想いをマップに反映させることができました。

評価されたポイント

ていあんせい
提案性

市の危機管理室による防災教室で土砂災害などについて積極的に学習し、崩落の疑いがある石垣の修繕を市へ提言している。また、既存の土砂災害ハザードマップも活用してマップを作成している。

きょういくこうかせい
教育効果性

土砂災害のメカニズムを学び、危険な箇所を調査したうえで、対策を提案しており、土砂災害を全般的に捉えたマップになっている。

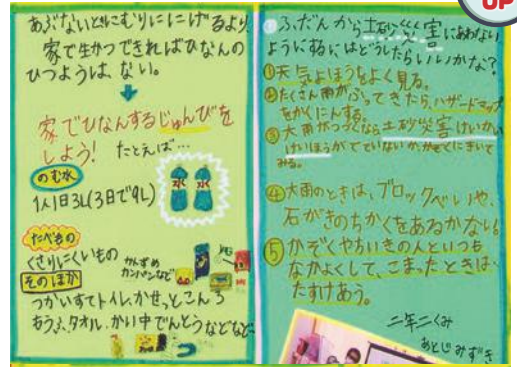
ちいきせい・テーマせい
地域性・テーマ性

地域には、土砂災害危険区域が多いことや、子どもたちの通学路に高い石垣があることをきっかけに、土砂災害の特徴をきちんと整理して土砂災害防災マップを作成している。

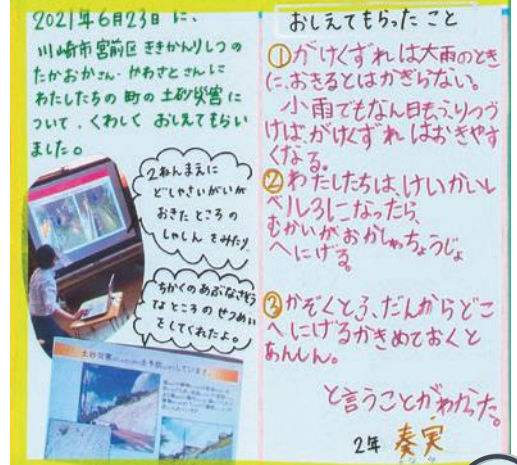
せい
ビジュアル性

実際に崩れた場所や土砂災害ハザードマップに掲載されている土砂災害警戒区域を探検し、まち探検での成果を防災マップ上にうまく表現している。写真の撮影に工夫があり、注目すべきポイントを分かりやすくしている。

ZOOM UP



ZOOM UP



ZOOM UP





しょう キッズリスクアドバイザー賞

にほんそんがいほけんだいにきょうきょうかいしょう
(日本損害保険代理業協会賞)

熊本県

ひとよし防災ワクワク組 「ひとよし防災ワクワク組」

学年 1,2,4年生 人数 5人 防災

Voice よろこびの聲

● チームの児童のみなさん

4.3mも水が増えた事にびっくりした。もう二度とあってほしくない。暑かったけど楽しかった。段々キレイになっているのがスゴイと思った。マップ作りは大変だったけど勉強になった。また来年も挑戦したいと思います。

● 指導された 東久美さん 清藤和代さん

水害から一年過ぎ、当時と比べると想像もつかないほどの変化がありました。子どもたちが自分たちは助ける側で周りの人を守るという気持ちでいる事に驚きうれしく思った所へ受賞となり本当に感謝です。子どもたちにとっても何かしら得られた事を信じたいと思います。

評価されたポイント

てい あん せい 提案性

すいがい え きょうくん ひょうげん すいがい そな
水害から得た教訓をマップに表現して、水害への備え
たいせつ つた ちいき こうかい
の大切さを伝えようとしている。地域にマップを公開
して、避難するときには、町内会の班ごとに声を掛け合
ひなん ちょうないかい はん こえ か あ
うことを提案している。

きょういくこう か せい 教育効果性

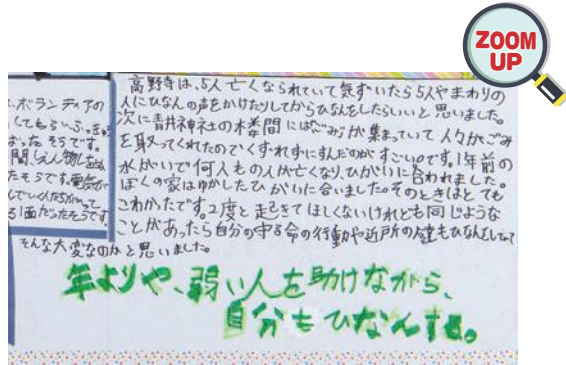
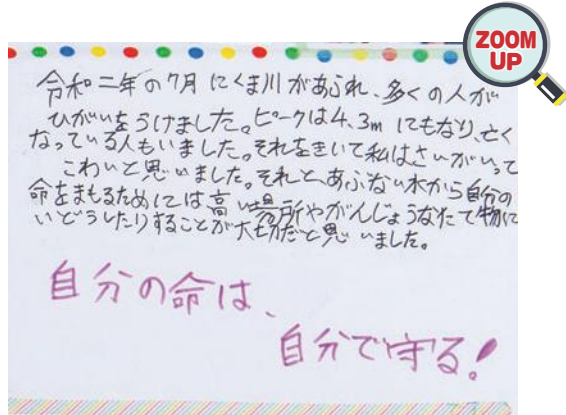
じぶん す お すいがい いち たいせつ
自分たちの住んでいるまちで起こった水害で、命の大切
さを改めて学んでいる。お年寄りや小さい子どもたちと
あたら まな としよ ちい こ
一緒に避難をする大切さを知り、子どもたちが助けられ
いっしょ ひなん たいせつ し こ たす
る側ではなく、助ける側になるということを考えるきつ
がわ たす がわ かんが
かけになっている。

ち いきせい せい 地域性・テーマ性

ひとよしし ねん がつ ごうろう くまがわ ほんらん ひ
人吉市は、2020年7月の豪雨による球磨川の氾濫で被
さい ひがい ちやくめん こ にど かな
災しており、被害に直面した子どもたちが二度と悲しい
ことを繰り返したくないとの思いから、どうすれば安全
く かえ おも あんぜん
にみんなの命を救えるか思いがまとめられている。

せい ビジュアル性

ちゅうおう わ ちず はいち たんけん
中央にシンプルで分かりやすい地図を配置し、探検の
せい か しゅうへん はいち み
成果をその周辺に配置した見やすいマップになって
いる。インタビューした結果などを被災当時の写真や
ふっきゅうご しゃしん まじ わ ひょうげん
復旧後の写真を交えて分かりやすくマップに表現して
いる。





未来へのまちづくり賞

あさひ しんぶんしゃしょう
(朝日新聞社賞)

福島県

西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ 「こすもす探検隊」

学年	4年生	人数	19人	防災
----	-----	----	-----	----



Voice よろこ へえ 喜びの声

● チームの児童のみなさん

防災ダンスを幼稚園の子どもたちに教えに行っははずしかったけど楽しかった。私たちの住む相馬の良い所を知る事ができ、防災の勉強もできました。賞をとる事ができてとてもうれしいです。

● 指導された 鈴木 美保 さん

「未来へのまちづくり賞」を受賞する事ができてとてもうれしく思います。子どもたちにマップ作りを通して何事も一生懸命やればできる、結果をだす事ができると教える事ができました。本当にありがとうございました。

評価されたポイント

てい あん せい 提案性

さいがい み まも こうどう たの まな
災害から身を守る行動を楽しく学べるよう、
ぼうさい どくじ こうあん よう ちえん
「防災サンバ」を独自に考案している。幼稚園を
ほうもん ぼうさい つた えんじ ぼうさい いしき
訪問して「防災サンバ」を伝え、園児の防災意識
こうじょう やく だ
の向上に役立っていることがうかがえる。



きょういく こう か せい 教育効果性

よき できない しんさい たい じぶん み じぶん
予期できない震災に対して、自分の身は自分で
まも こと ひ ごろから ぼうさいくねん こと や 家
守ること、日ごろから防災訓練をすることや家
ぞく そな について 話し合う こと の 大切さを 学ん
でいる。



ち いきせい せい 地域性・テーマ性

ねん がつ はっせい ふくしまけんおき じしん じどう
2021年2月に発生した福島県沖地震で、児童ク
ラブの建物が被害を受けたことをきっかけに、
じしん ひがい げんいん だんそう
地震の被害の原因が断層であることに気づき、
す 住んでいるまちにある活断層を学ぶことで、今
ご はっせい え じしん たいさく かんが
後発生し得る地震への対策を考えている。



せい ビジュアル性

の ひ なんじょ たてもの りったい め
マップに載せた避難所の建物を立体にして、目
だ くふう
立つ工夫をしている。子どもたちが様々な防災
サンバのポーズをとった写真を載せて、マップ
しゃしん の
を見る人の興味を引くよう工夫されている。





賞 わがまち再発見賞

にほんさいがいきゅうえん (日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

福井県

福井県小浜市立雲浜小学校 「チームうんぴん」

学年 4年生 人数 43人 防災



Voice よろこ 喜びの声

● チームの児童のみなさん

すばらしい賞をいただきありがとうございます。良かった点は、自分たちで進んで避難時間を計ったり、地域の方に危険な場所をインタビューしたことです。小さい子が見やすいように、立体化したり、目立つ色を丁寧にぬりました。

● 指導された 正木 啓敬 さん

すばらしい賞をいただき、感謝いたします。マップ製作過程で、避難訓練の運営に児童が携わりました。仲間と危険箇所を調べたり、防災の本を読み聞かせたり、マップ作りを通して、進んで学ぶ姿勢が身に付きました。

評価されたポイント

てい あん せい 提案性

県の津波浸水想定で危険度の高い地域であることから、
下校中に地震が発生して津波が来るという想定で訓練
を企画・実施し、その成果をマップにまとめている。
津波避難に必要な情報を整理してマップに記し、自助・
共助の大切さを地域に提案している。

きょういくこう か せい 教育効果性

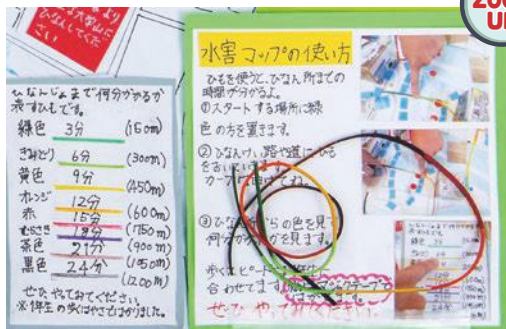
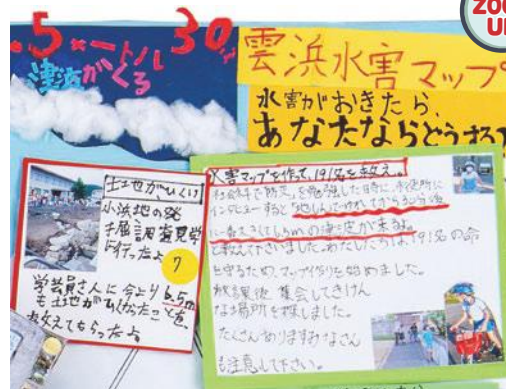
避難場所の安全性を市役所や地域の方に尋ねることで、
自分の命は自分で守るという自助の意識や、小学校1年
生に防災に関する本の読み聞かせをするなどの共助の
意識が高まっていることが伝わってくる。

ち いきせい せい 地域性・テーマ性

県の津波浸水想定や学校が立地する場所が低地である
ことを学び、校区が水害の発生しやすい地域であることを
を課題として防災マップを作成している。

せい ビジュアル性

土地や避難ビルの高さを立体的に表現し、安全な場所
の高さが直感的に分かるように工夫している。マップ
に色分けしたひも状のスケールを付属させて、避難時
に1年生が徒歩で移動できる距離と時間が分かるよう
に工夫しているなど、体感できる仕掛けがマップに盛
り込まれている。



ぼうさい探検隊賞

にほんそんがいほけんきょうかいしょう
(日本損害保険協会賞)

ほっかいどうおくしりちようりつあおなえしょうがっこう
北海道奥尻町立青苗小学校

あおなえしょうねん
「青苗小3・4年ぼうさいキッズ」

学年	3、4年生	人数	8人	防災
----	-------	----	----	----



北海道

北海道南西沖地震から28年

奥尻青苗のぼうさいキッズ

みんな命を守ろう

津波対策マップ!

ひなん所

「ひなん所」の役割は、地震発生時に命を守るために、建物から避難する場所です。避難所には、お水やお食料、お風呂、おトイレ、お寝る場所があります。避難所に行くときは、お水やお食料、お風呂、おトイレ、お寝る場所を準備してください。

ひなん路

避難所に行くには、避難路が必要です。避難路には、お水やお食料、お風呂、おトイレ、お寝る場所があります。避難路に行くときは、お水やお食料、お風呂、おトイレ、お寝る場所を準備してください。

ピロティオンデック

ピロティオンデックは、津波から身を守るための施設です。ピロティオンデックには、お水やお食料、お風呂、おトイレ、お寝る場所があります。ピロティオンデックに行くときは、お水やお食料、お風呂、おトイレ、お寝る場所を準備してください。

防災無線

防災無線は、災害発生時に情報を伝えるための施設です。防災無線には、お水やお食料、お風呂、おトイレ、お寝る場所があります。防災無線に行くときは、お水やお食料、お風呂、おトイレ、お寝る場所を準備してください。

みんなの感想

奥尻町立青苗小学校の児童が、津波対策マップを作成しました。マップには、避難所、避難路、ピロティオンデック、防災無線などの施設が記載されています。児童たちは、津波から身を守るための知識を身につけ、防災意識を高めました。

Voice よろこ 喜びの声

● チームの児童のみなさん

入賞できてとてもうれしいです。みんなで一生けん命作りしました。マップを作って青苗の防災施設のことが良く分かりました。これからも防災施設を大切にして、自分の命をしっかりと守れるようにしていきたいです。

● 指導された小原なおみさん

ほっかいどうなんせいおきじん 28年。今回は、いつも身近にある地域の防災施設のことを調べてマップにしました。調査・マップ作成の過程では、子どもたちの色々な気づきを取り上げ、全体での話し合いを大切にしながら進めました。

評価されたポイント

提案性

避難路のバリアフリー化の推進、防災袋の配備
 や各家庭の防災意識の醸成を提言している。
 津波対策設備などを活用しながら、津波発生
 時はとにかく高いところへ移動するよう訴え
 ている。

教育効果性

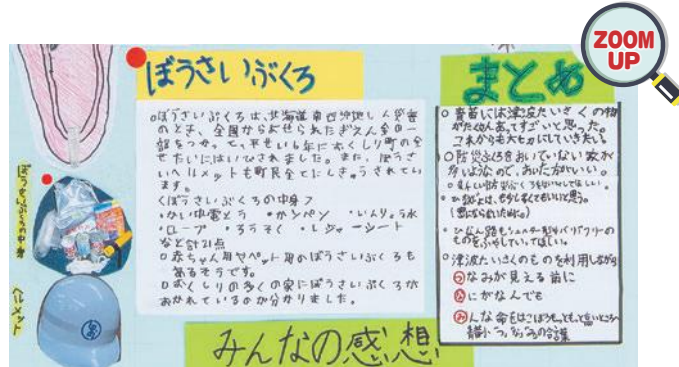
過去の災害を踏まえて整備された様々な防災施
 設を訪れ、設置目的などを調査したことで、設備
 の有用性を知り、安心感を持つ一方で、自分の命
 は自分で守ることの大切さを子どもたちが実感
 している。

地域性・テーマ性

28年前の北海道南西沖地震で甚大な被害を受
 けた青苗地域では、当時の小学生が今では親と
 なり、その親から今の子どもたちに地震や津波
 の災害教訓が受け継がれている。

ビジュアル性

津波から命を守ろうをテーマに、海拔ごとに色
 分けすることで、高低が一目で分かり、高いところ
 に避難する必要があることを分かりやすく伝
 えている。防災施設などを写真とともに解説入
 りで記し、対策が施されていることを紹介して
 いる。



北海道

学年 3~6年生 人数 11人 防災・交通安全

北海道札幌南区川沿少年消防クラブ「川沿未来レスキュー隊」



評価されたポイント

- 提案性** はじめて地域に来た人にも避難所の場所が分かるように、案内看板を電柱につけることや、災害時に活用できる防災マップを印刷した防水風呂敷を配布することを町内会に提案している。
- 教育効果性** コロナ禍の防災をテーマにして消防署にインタビューをし、「今災害が起きたら」を想定した避難方法や備え、災害への心構えの重要性について学んでいる。
- 地域性・テーマ性** 山に囲まれた急傾斜地の多い地域で、専門家から土砂災害について学び、地域の多くの場所で土砂災害の危険があることが示されている。クマが出没する地域で、クマが出没した場所もマップに盛り込まれている。
- ビジュアル性** 高低差がある地域であることが分かるよう断面図を描く工夫がなされている。コロナ対策で新たに避難所に備蓄された物資や普段から用意すべきものをイラスト入りで紹介している。

Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

すばらしい賞を受賞できて光栄です。コロナ禍での防災について、何を知り何をすべきかを分かりやすく表現する事が出来ました。大変な事もみんなでのりこえて、笑顔ですごせる地域であるよう力を合わせていけたらうれしいです。

指導された 豊田 妙子 さん
今年度も普段と同じような活動はできませんでしたが、SNSなどを使って、多くの方々に協力していただき、完成させる事ができました。子どもたちにとって、この経験が今後にいかにされていく事と思います。ありがとうございました。

岩手県

学年 4年生 人数 6人 交通安全

中里放課後子ども教室「中里放課後子ども教室」



評価されたポイント

- 提案性** 事故なく安全に通学ができるように、まち歩きで気づいた通学路の危険性などを子どもの視点でマップを作成している。子どもだけでなく、保護者や地域の方にも通学路の安全を意識させるマップとなっている。
- 教育効果性** 日ごろから感じている集団登校時の危険などを大人と一緒に話し合うことで、交通ルールの遵守、ドライバーや見守りボランティアの方への感謝の気持ちが芽生えたことがうかがえる。
- 地域性・テーマ性** 歩道が狭い通学路があることや、通学時間帯の交通量が近年増加していることなどを踏まえ、通学路を丁寧に探検して危険な場所を発見している。
- ビジュアル性** 特に危険な場所は、ルーペで拡大した詳細図をイラストで描いて説明することで、気をつける必要があるポイントなどが分かるように工夫されている。横断歩道を渡るときの注意点をまとめ、分かりやすくしている。

Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

通学路には交通事故発生箇所などたくさん危険がありますが、地域の方の見守りで私たちは安心して通学できます。誰もが事故にあわないようみんなと気持ちを込めて作ったマップが「審査員特別賞」をいただけてとてもうれしいです。

指導された 齊藤 裕美 さん
事故を防止するには「思いやり」「感謝する気持ち」が大切だと活動の中で子どもたちが気づいたことがうれしいです。素朴な疑問や解決方法を言いあったり、励ましあう姿が微笑ましかったです。学びを活かして元気に登校しましょう。

福島県

学年 3年生 人数 25人

防災

相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ「かもめ探検隊」

評価されたポイント



提案性 アンケート結果で「家族防災会議をしている」と回答した家庭は2割と少ないことを問題提起し、災害から家族の命を守るために具体的に何を話し合えばよいか挙げている。

教育効果性 避難訓練時に気づいた要介護者の避難支援やペット同伴での避難方法について市役所にインタビューする、災害時にSNSを上手に活用する方法を調べるなど、災害時の命を守る行動について深く学習していることがうかがえる。

地域性・テーマ性 東日本大震災の語り部から「自分の命は自分で守ること」の大切さを学び、防災林の効果を市役所にインタビューするなど、地域の特性を踏まえたテーマをマップにしている。

ビジュアル性 伝えたい内容が目立つよう、マップには避難場所だけを落とし込んで避難場所が分かりやすいようにする、項目ごとに配色を変えるなどの工夫をしている。

Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

東日本大震災について調べ、今まで知らなかった事をマップを作る事で知る事ができ、勉強になりました。賞をもらってうれしかったです。

指導された 荒基恵さん

作品が賞を受け大変うれしく思います。家族で話し合う機会を持つ事ができ、子どもたち自身にも自分の身は自分で守る事の大切さを再確認させる事ができ、とてもうれしく思います。

茨城県

学年 6年生 人数 2人

防災・防犯

レンジャー探検隊「レンジャー探検隊」

評価されたポイント



提案性 暗い道や不審者が潜みやすそうな場所など、身近な危険場所をマップに落とし込み注意を促している。警察官にインタビューを行い、不審者情報、登下校中の注意点や防犯ブザーの効果的な使い方をまとめて伝えている。

教育効果性 危険な場所やまちの特性を分類したり、防犯標語を活用した対策を示したりするなど防犯について深く学習していることがうかがえる。

地域性・テーマ性 まち探検の中であわせて実施したごみ拾いなどの活動で、ごみが多く散らかっているなど防犯上の観点から危険と考えられる場所への気づきがある地域密着型のマップとなっている。

ビジュアル性 安全な場所と危険な場所がそれぞれ一目で分かるようアイコンを用いてマップを作成している。不審者が潜みやすそうな場所は、どこに潜んでいるかが具体的に分かるように写真を撮影し、分かりやすくしている。

Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

私たちにとって安全な場所、危険な場所はどこなのかを見て考え、それらを多くの人たちにも伝えたいと思いながら、まち探検をしました。その成果として、このようなすばらしい賞を受賞できて、とてもうれしく、感動しています。

指導された 宮河 敬さん

近年、登下校中の児童の命が脅かされる事件事故が相次いでおり、子どもたちが自ら犯罪被害、交通事故に遭わないための知識や危険回避能力を養う重要性は増えています。明るい未来への鍵は「自ら学び考える力」と確信しています。

石川県

学年	6年生	人数	3人	防災
----	-----	----	----	----

かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会「地域の皆を守り隊」



評価されたポイント

- 提案性** 地域の害獣をクマ・イノシシ・カラスに絞って調べ、害獣の予防方法やクマから身を守る方法を伝えている。イノシシの出没場所や電気柵の設置場所に注意喚起のための看板の設置の提案を行っている。
- 教育効果性** 地域の人から、害獣とその対策、電気柵の設置や維持管理の苦勞などを丁寧に聞き取ったうえで、マップを作成していることがうかがえる。地域の人たちを害獣から守りたいという思いがマップから伝わる。
- 地域性・テーマ性** 子どもたちが良く使うスポーツ施設周辺にイノシシが良く出沒することや、クマの出沒回数が市内で一番多いことなどを踏まえ、害獣は地域として解決すべき課題ととらえてマップを作成している。
- ビジュアル性** アイコンを活用し、クマやイノシシの出沒箇所を分かりやすくマップに記している。害獣の種類や予防方法、クマに会った時の対処法やインタビューで分かった重要な情報を見やすくまとめている。

Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

みんなでがんばって作ったマップが賞に選ばれて、とてもうれしいです。マップ作りを通して、地域の人たちの苦勞や工夫を知ることができました。たくさんの人に見てもらって、害獣対策について知ってもらいたいです。

指導された 本多 タ子 さん
 今回のような賞をいただき、ありがとうございます。コロナ禍で次々と行事が中止になる中、6年生の子どもたちにとって、小学生最後のすばらしい思い出になりました。ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

石川県

学年	5,6年生	人数	3人	防災・防犯
----	-------	----	----	-------

かほく市子ども会 宇ノ気支部 栄町子ども会「栄町キッズレンジャー」



評価されたポイント

- 提案性** インタビューを通して得た気づきを踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策を盛り込んだ避難所マニュアルの作成を自主防災会防災リーダーに要望している。身近な大人に自助・共助の必要性を訴えている。
- 教育効果性** 町会長、防災リーダーなどへのインタビューや防災・防犯訓練を体験して、正しい知識と行動が大切であることを学んでいる。マップに「栄町キッズレンジャー五訓」や「栄町キッズレンジャーの使命」を盛り込み、自分を守り地域を守るという意気込みが伝わる。
- 地域性・テーマ性** 自分たちの住んでいるまちでは、道路幅が狭いことや住宅が密集していること、高齢者が多く、夜暗い道があり、犯罪が発生していることなど、まちの特徴や課題をきちんと把握している。その上で、マップのテーマを防犯と防災に設定している。
- ビジュアル性** マップを新聞風デザインすることで、目を引く構成になっている。また、見出しなどもつけられていて、分かりやすくなっており、地図もシンプルな表現で見やすくなっている。

Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

栄町の防災・防犯に役立つマップを作ろうと、みんなでがんばりました。立派な賞をいただき、協力してくれた人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。これからも訓練を続け、町内の防災・防犯力を高めていきます。

指導された 中嶋 優加里 さん
 子どもたちはチーム一丸となり、栄町のために真剣に取り組みました。子どもたちとともに大人も地域の方から防災・防犯について学びました。このようなすばらしい経験と賞をいただき、ありがとうございました。

沖縄県

おきなわけんうらそえしりつみやぎがはらじどう

沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター「スマイル探検隊」

学年

3,5年生

人数

3人

防災・交通安全

評価されたポイント

提案性

横断歩道のラインが消えかかっていること、路上駐車が多く道幅が狭いことや街灯が少なく夜が暗いことなどの課題を発見し、具体的な対策や課題の改善を提言している。

教育効果性

マップ作成前に、事前学習会や自宅学習で、家族と通学路の安全や危険について話し合いを行い、コロナ禍を踏まえてリモートでインタビューを実施するなど、まち探検以外にもさまざまな活動を行っている。

地域性・テーマ性

学校や学童クラブなどの施設が多く、子どもやその送迎車の往来が多い地域でありながらも歩道のない場所がある、街灯が少なく夜には暗くなる道があるといった地域性を踏まえてマップを作成している。

ビジュアル性

低学年でも分かりやすいものにする配慮から、地図を大きく配置する、凡例を設ける、写真やイラストを活用するなどの工夫を行い、見やすくマップを作成している。



Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

初めてマップ作り挑戦しました。コロナの影響で時間が無い中、安全マップについて勉強してからまち探検をしました。普段歩いている所にも危険が沢山あることに驚きました。マップが皆を危険から守ってくれるように役立ってほしい。

指導された 安里 さゆりさん

今年のメンバーは初のマップ作製。コロナ禍のため、初のリモートインタビューに挑戦しました。子どもたちの防犯意識も根つき、今後も地域と共に安全なまちづくりを目指し取り組んでいきます。

沖縄県

ほくざんがくどう

北山学童「みんながたいせつ守り隊」

学年

4年生

人数

5人

防災・交通安全

評価されたポイント

提案性

津波からの避難が課題であることを認識し、夜間の避難も想定して、街路灯の増設を提案している。また、高台への移動にかかる時間の計測結果をもとに、早めの避難の重要性を訴えている。

教育効果性

コロナ禍を踏まえ、インタビューに代えてアンケートを実施するなど、調べ方を工夫している。津波からの避難のために、海抜10m以上の高台に歩いていくコースを考え、実際に時間を計ったことで、避難の方法を理解している。

地域性・テーマ性

地域の歴史を学んだうえで、津波で集落のほとんどが浸水する可能性があることや、まちの防犯・交通安全などの課題を取りまとめたマップとなっている。

ビジュアル性

地図を大きく配置し、津波を想定した浸水域を色分けして示す、防災・防犯別で凡例を設けて記すなどの工夫により、マップが分かりやすくなるようにしている。



Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

私たちは、マップを作るのがむずかしかったけど、楽しかったです。とくに、アンケート調査をがんばって、ひなん場所を知らない人やひなん場所をまちがえる人がいたのであぶないと思いました。賞がとれてうれしかったです。

指導された 伊藤 康司さん

コロナ感染しない様に、アンケート調査にして一件ずつ目で地域を確認しながら歩き、災害や事故から尊い命を守るための意見を沢山話し合いチームワークで作成しました。子どもたちの自信になる賞をとれてとてもうれしいです。

デジタルマップ特別賞



「デジタルマップ特別賞」とは
 日本損害保険協会が無償で貸出している「まち探検アプリ」搭載のタブレット端末を、児童
 が使って探検・マップ作りした作品のなかから、審査によって選出した賞です。

「まち探検アプリ」とは
 普段歩く通学路や避難場所への経路など、道路上の危険な所・安全な所を調べ、タブレットに
 写真やアイコンをワンタッチで登録できるほか、タブレットには「事前学習の手引き」が
 搭載されており、簡単に学習ができるようになっています。

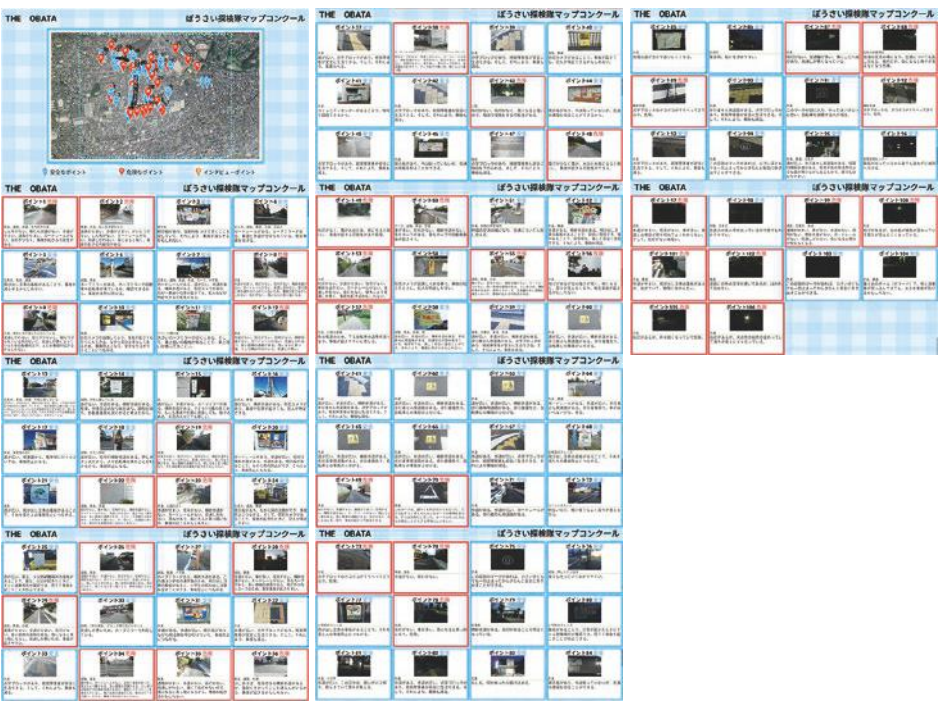
マップ作成手順



愛知県

学年 6年生 人数 3人 交通安全

THE OBATA [THE OBATA]



評価されたポイント

- 提案性** ガードレール、飛び出し注意の看板や歩行者優先の標識などの交通事故を防ぐための様々な設備について学び、その内容をマップを見た人に伝えるものとなっている。
- 教育効果性** 多くの場所に標識が設置されるなど、自分たちが守られていることを知る一方で、ガードレールがない狭い道路の危険性も知り、交通安全への意識が高まったことがうかがえる。
- 地域性・テーマ性** 交通ルールが守られていない箇所があることに気づき、交通事故を防止するには設備だけでなく、交通安全を意識して行動することが必要であることを示している。
- 専門家ならではの観点** 昼間と夜間にまち歩きをし、特に夜間は視界が悪く危険であることに気づき、写真で示している。

Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん
 今回、私たちの作品が入選してとてもうれしいです。3人で協力できたので、より交通安全について知ることができ、3人の仲も深まりました。これからもさらに安全への意識を高めていきたいと思っています。

指導された 寺岡 美晴 さん
 子どもたちが自分たちの住むまちについて一生懸命考えたことが今回の結果につながり、大変うれしく思っております。今後もこの経験を生かして地域と共に成長して欲しいと思います。この度は素敵な賞をありがとうございました。

静岡県

学年 3~5年生 人数 12人

防災、防犯

いまいづみ児童クラブ「いづみっこ anzen洪水チーム」



評価されたポイント

- 提案性** 洪水ハザードマップで想定される浸水の深さを調べてマップに落とし込んだうえで、安全な避難場所を伝えている。
- 教育効果性** 浸水想定区内の高い建物は避難場所となるが、洪水が起きると孤立する危険な場所でもあることに気づいている。浸水が想定されていない地域まで避難することの重要性を学んでいることがうかがえる。
- 地域性・テーマ性** 浸水発生時は避難場所まで遠回りした方が安全に避難できることを発見するなど、地域特有の災害の特徴と対策が示されている。
- 専門家ならではの観点** 小学校から避難場所まで、徒歩で何分かかかるか体験してコメントを載せることで、避難場所までの距離感が伝わってくる。子どもたちならではのユニークな視点で、遠くの避難場所に向かうときの休憩ポイントが示されている。

Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん
はじめは「難しそう。できるかな」と不安でしたが、タブレットを使ってやっていると「何つくってるの?」「俺も手伝うよ」と仲間が集まり、どんどんマップ作りが楽しくなってきました。みんなで頑張ったので入賞できてうれしいです。

指導された山崎 薫さん
子どもたちの住み慣れた地域で、防災に視点をあてて探検することでたくさん発見があった様です。「誰ひとりでも逃げ遅れる子がいてはいけない」という熱い想いをもち作成された愛情マップ。子どもたちの情熱が届き、感動しました。

神奈川県

学年 4.6年生 人数 3人

防災

ガールスカウト神奈川県第53団「GS KANAGAWA 53 2班」



評価されたポイント

- 提案性** がけ崩れの恐れがある急斜面を発見し、コンクリートで固めるなどの土砂崩れ対策を提案している。土砂災害発生時は安全な経路を利用して避難するといった避難行動のあり方を伝えている。
- 教育効果性** 同じ地域であっても、地形の違いなどによって災害リスクが異なることを地域の方へのインタビューで学んでいる。
- 地域性・テーマ性** ハザードマップでがけ地が多いまちであることを確認したうえでまち歩きを実施し、危険な場所と安全な場所を実際に見て、感じた内容を記している。
- 専門家ならではの観点** 危険なポイントでは、どのような被害が出るかを想定して、安全に避難する方法や避難するときの注意事項を整理しており、がけ崩れからどうしたら命を守ることができるかを伝えるマップになっている。

Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん
タブレットを使ったまち歩きとマップ作りは楽しくできました。気づきを分かりやすい言葉にする事が難しく、意見が分かれた時には話し合いもりましたが、大変だっただけ達成感も大きいです。頑張った事が賞に結びつきうれしいです。

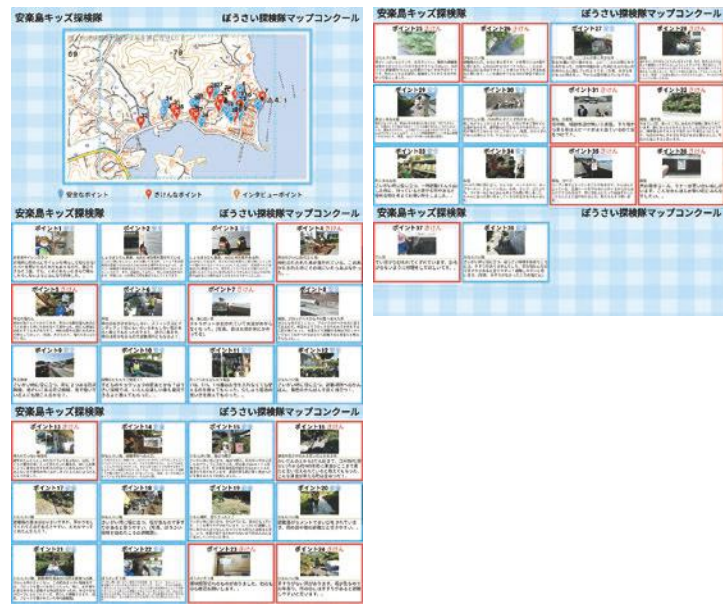
指導された仲戸川 美雪さん
子どもの目線で防災を考えるマップ作りは、自ら考え行動する力を育む上でも欠かせない活動として長年継続しています。インタビューなど地域の方のご協力があってこそ入選に繋がりと、支えて下さった全ての方々に感謝いたします。

三重県

学年 1~5年生、幼児 人数 12人

防災

鳥羽市安楽島子ども会「安楽島キッズ探検隊」



評価されたポイント

提案性 高齢者など災害弱者と言われる人たちの視点に立ち、スロープが整備された避難経路を紹介したり、避難しやすい高台を避難場所として提案している。

教育効果性 防災倉庫を確認して地域のひとたちが避難する際に十分な備蓄量がないことに気づき、公助に頼るだけでなく、各家庭の非常持ち出し品の重要性を知るなど、防災に対する意識が高まったことがうかがえる。

地域性・テーマ性 海沿いにあるという地域特性から、毎年防災マップを作成して発表会を実施していること、地域住民が協力して避難路や避難場所の整備をしていることなどを学んだことが伝わる。

専門家ならではの観点 消防団の車庫にあるAEDはシャッターを開けなければ取り出せないことを知り、低学年の児童が開けられるかを子どもたちの体験を通じて確認している。

Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

今年もデジタルマップが入選できてとてもうれしいです。昔の写真を持ってまちを探検しました。ブロックべいや交差点など危険な所や改ぜんされている所もたくさんあることが分かりました。まちの人にこのマップで知ってほしいです。

指導された 濱口 敬司 さん

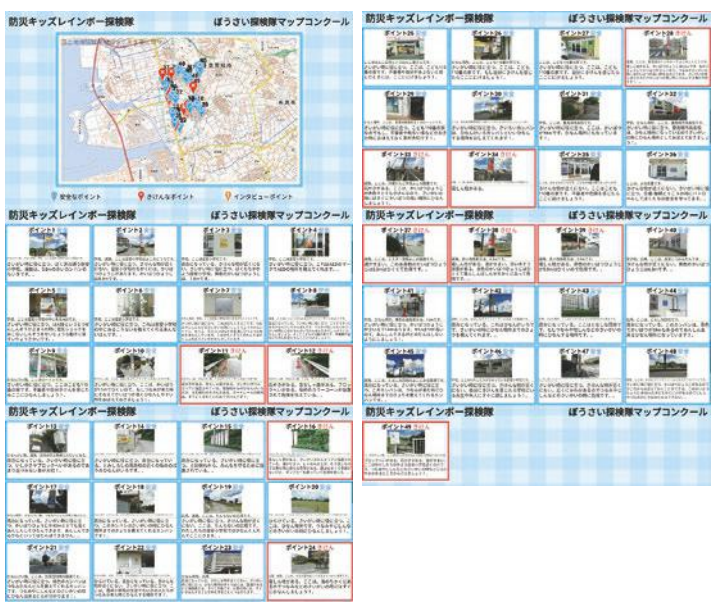
今年も幼児の参加もあって、例年より増して楽しく、ぼうさい探検ができました。防災には年齢は関係ありません。これからも子どもたちと一緒にぼうさい探検を続けて行きます。20年めざして。この度は、ありがとうございました。

沖縄県

学年 2.3年生 人数 4人

防災、防犯

沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ「防災キッズレインボー探検隊」



評価されたポイント

提案性 土砂崩れの危険がある箇所や津波からの避難経路で、ガードレールの基礎が崩落している箇所を発見し、改善要望を市役所に伝えている。

教育効果性 地域に設置されている海拔表示、避難経路看板、子ども110番の家を中心に意欲的に発見して身近に安全なポイントが多くあることを学んでおり、防災・防犯に対する意識が高まったことがうかがえる。

地域性・テーマ性 津波の危険性にスポットを当て、海拔表示の看板の意味を調べることで、海拔が低く危険な場所、海拔が高く安全に避難できる場所を理解していることが伝わる。

専門家ならではの観点 「自分たちが感じた安全と危険をしっかりと伝える」ことを意識して、誰にでも分かりやすい言葉で伝え、子どもたちならではの発想で避難行動の方法を提案している。

Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

タブレットを使つての撮影・入力・録音は大変だったけど、とても楽しかったです。小さな子どもたちでも写真を見ながら、耳で聞いて分かりやすいように、安全と危険の伝え方をみんな考えて作りました。このマップがみんなの命を守る事につながってほしいです。

指導された 金城 有希 さん

地域の方々のご協力の中、子どもたちは多くの情報を学び防災の理解を深める事ができました。命を守る行動の仕方を考え、マップにまとめて伝える事でクラブ全体の防災意識の向上と学習意欲が高まりました。その頑張りが受賞という素晴らしい結果につながりうれしく思います。

応募状況

表中の青文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・デジタルマップ特別賞5作品・佳作50作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
北海道	19	46	203	札幌市桑園児童会館 はっぴい☆らっきい委員会／北海道苫小牧市立苫小牧西小学校／柏木ぼうさいガールズ／釧路キッズ探検隊／チームめいめい／ゆいと探検隊／ゆうへい探検隊／チームTYS／ 北海道奥尻町立青苗小学校 ／北海道札幌市立二条小学校／ 北海道札幌南区川沿少年消防クラブ ／向陽台ぼうさいキッズ／旭川とうこうたんけん隊／東光キッズ／浜分探検隊／小田原キッズ／どりょうかく探検隊／苗穂少年消防クラブ／北海道白老町立虎杖小学校
青森	2	8	85	青森県八戸市立田面木小学校 ／青森県八戸市立八戸小学校
岩手	8	9	51	岩手県久慈市立久慈湊小学校 ／伊藤兄妹／ 中里放課後子ども教室 ／西青山探検隊／本町・中央通探検隊／きたかみキッズ／岩手県紫波町立星山小学校／川口探検隊
宮城	9	25	455	宮城県石巻市立桃生小学校 ／宮城県石巻市立釜小学校／ 宮城県石巻市立鮎川小学校 ／宮城県石巻市立須江小学校／ようせい探検隊／仙台市大野田児童館／ おのだっこ ／宮城県仙台市立郡山小学校／宮城県石巻市立北村小学校
山形	7	18	90	山形県酒田市立広野小学校／まいぜんキッズ／YS危険探検隊／ 山形県天童市立天童北部小学校 ／キキキキキッズ／ 山形県山形市立大郷小学校 ／山形県真室川町立真室川あさひ小学校
福島	3	3	63	西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ ／ 相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ ／ 福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊
茨城	8	29	242	見川探検隊／Kids Creation Afterschool／ レンジャー探検隊 ／探検隊310／ボーイスカウトつくば第3団／茨城県笠間市立 笠間小学校／大野小学校 野木崎地区探検隊／やちよエコクラブ
栃木	3	3	14	一の沢探検隊／小山探検隊／栃木県真岡市 大田山地区 上原町会 育成会
群馬	3	4	14	今里兄弟／群馬県高崎市立六郷小学校 ぼうさい探検隊／一般財団法人くらしまち財団たかさき
埼玉	4	8	28	ボーイスカウト入間第3団カブスカウト隊／北本探検隊／ガールスカウト埼玉県第20団／ ボーイスカウトさいたま104団カブ隊
千葉	14	47	214	千葉県長生郡長生村立一松小学校／高野ブラザーズ／私の通学路、あぶない所を見つけよう！／千葉県館山市立豊房小学校／千葉県鴨川市立田原小学校第4学年／千葉県陸沢町陸沢小学校／ ガールスカウト千葉県第26団 ／ガールスカウト千葉県第20団ジュニア部門／平井ゆあなし／ボーイスカウト佐倉第3団ビーバースカウト隊／シュガーファミリー探検隊／千葉県茂原市立中の島小学校／千葉県八千代市立村上小学校／千葉県佐倉市立上志津小学校
東京	18	148	772	木村兄妹／あだちキッズ／久保山探検隊／東京都足立区立西新井小学校／東京都台東区立池之端児童館／高輪消防少年団／北砂探検隊／かなまち探検隊／東京都清瀬第六小学校／山王キッズ探検隊／ガールスカウト東京都第168団／高井戸小学校ファミリー会／いとこと探検隊／東京都板橋区立高島第五小学校／東京都江戸川区立第六葛西小学校／東京都八王子市立柏木小学校／東京都目黒区立碑小学校／東京都日野市立日野第六小学校
神奈川	26	36	167	長柄地区探検隊／SDAふれあいの丘キッズ／川崎市枳形こども文化センター／渡田こども文化センター／ガールスカウト神奈川県第18団ジュニア／真福寺小学校わくわくプラザ／橘小学校わくわくプラザ／南菅こども文化センター／ ガールスカウト神奈川県第53団 ／公益財団法人かわさき市民活動センター 野川こども文化センター／ 川崎市立宮崎小学校わくわくプラザ ／ガールスカウト神奈川第18団ブラウニー／磯子ゆずっ子探検隊／浅間町探検隊／深沢キッズ／幸ヶ丘探検隊／のげキッズ探検隊／あおば探検隊／ダブルアール／宮崎こども文化センター／公益財団法人かわさき市民活動センター 二子こども文化センター／ 公益財団法人かわさき市民活動センター 三田こども文化センター ／日本ボーイスカウト 神奈川連盟 海老名第2団 カブ隊／ 公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ ／ガールスカウト神奈川県第56団／公益財団法人藤沢市みらい創造財団 青少年事業課 辻堂青少年会館
新潟	6	14	45	松海が丘探検ガールズ／坂井なかよし結友キッズ／SUGAI KIDS／ 塩沢金城わかば児童館 ／新潟県魚沼市立宇賀地小学校／新潟県佐渡市立高千小学校
富山	4	4	13	野村小学校 キッズ／片貝探検隊／木津キッズ／中野第2区児童クラブ



応募状況

表中の青文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・デジタルマップ特別賞5作品・佳作50作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
石川	27	34	199	かほく市子ども会 高松支部 三北子ども会／朝日放課後児童クラブ／チーム・ムーちゃん／重政探検隊／チーム東川／かほく市子ども会 宇ノ気支部 横山子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 宇ノ気旭町子ども会／ かほく市子ども会 宇ノ気支部 栄町子ども会 ／かほく市子ども会 宇ノ気支部 宇気子ども会／ かほく市子ども会 七塚支部 白百合子ども会 ／かほく市子ども会 七塚支部 青空子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 外日角子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 はまなす子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 ひばり子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 みどり子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 木津よつば子ども会／ かほく市子ども会 高松支部 中沼子ども会 ／かほく市子ども会 高松支部 夏栗子子ども会／かほく市子ども会 高松支部 瀬戸町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 大海東部子ども会／ かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会 ／ かほく市子ども会 高松旭町子ども会 ／かほく市子ども会 高松支部 学園台子ども会／かほく市子ども会 高松支部 上伊丹町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 岸川町子ども会／かほく市子ども会 高松元町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 南中町子ども会
福井	5	12	75	ボーイスカウト福井第2団カブ隊／ボーイスカウト福井第12団／ボーイスカウト武生第5団カブスカウト隊／ボーイスカウト福井第21団カブ・ビーバー隊／ 福井県小浜市立雲浜小学校
山梨	5	22	251	山梨県市川三郷町立上野小学校／山梨県市川三郷町立六郷小学校／双葉パーク／小室探検隊／中央市立玉穂西部児童館
長野	6	9	52	町田探検隊／寿台ぼうさい探検隊／いなりやま防災探検隊／ 島内子ども会育成会 TEAMしまうちっ子 ／岡谷仲良しキッズ／安曇野防犯協会連合会
岐阜	6	42	221	多治見市共栄児童館子どもスタッフ／せきひろみ探検隊／ふぞくっこ探検隊／岐阜県可児市立広見小学校／岐阜県岐阜市立網代小学校／浅野姉弟探検隊
静岡	8	12	42	ガールスカウト静岡県第18団／ いまいずみ児童クラブ ／マイクラーズ／らどん探検隊／服っ子探検隊／静岡市草薙児童館／ガールスカウト静岡県第34団／ガールスカウト静岡県第24団
愛知	11	23	146	THE OBATA ／中ノ浜キッズ／緑区探検隊／まつたけ探検隊／東志賀ぼうさい探検隊／平手北キッズ／愛知県西尾市立中畑小学校／岩戸町会／愛知県豊田市立足助小学校／愛知県北名古屋市立師勝北小学校／日本ボーイスカウト愛知連盟 名古屋第31団
三重	9	18	156	マッシュモブラザーズ／ 鳥羽市安楽島子ども会 ／はづっ子カウボーイ／万場探検隊／ぼっこりーず／おもち探検隊／かもっこ 放課後子ども教室／あらっこ放課後子ども教室／三重県鈴鹿市立箕田小学校
滋賀	4	9	31	新旭南なかよし探検隊／ドラゴンキッズ／旭森ぼうさいキッズ／滋賀県甲賀市立甲南第三小学校
京都	5	5	14	柏木探検隊／奈良探検隊／八幡の八幡の探検隊／京都朱六キッズ／ももキッズ
大阪	10	24	113	大阪府大阪市立城北小学校／ボーイスカウト枚方第5団カブ隊／さくらいたい／大阪府豊中市立庄内小学校／日本ボーイスカウト大阪連盟 大阪第71団 カブ隊／河内天美探検隊／柏原大正探検隊／貝塚ぼうさい探検隊／アンテスイミー探検隊／ガールスカウト大阪府第21団
兵庫	9	27	132	兵庫県姫路市立増位小学校／兵庫県洲本市立由良小学校／みかげ探検隊／ひなりん／須磨高倉町探検隊／潮見台町探検隊／淡路島ヤンチャーズ／高丸学童保育コーナー／神戸市立愛垂児童館
奈良	3	4	17	ボーイスカウト大和高田第12団カブ隊／ 安全見守りボーイズ ／日本ボーイスカウト奈良県連盟 大和郡山第1団カブスカウト隊
和歌山	10	34	170	和歌山県新宮市立三輪崎小学校／和歌山県有田郡広川町立広小学校／ はちぶせ探検隊 ／朝日会／橋本市立清水小学校／ 和歌山県有田郡有田川町立鳥屋城小学校 ／ 和歌山県有田郡有田川町立小川小学校 ／和歌山県すさみ町立周参見小学校／紀州レンジャーズ～絆キッズ～／黒江こども会
鳥取	3	5	26	鳥取県米子市立和田小学校／ 殿ちびっこ探検隊 ／五条悟ファンキッズ

小学生だけでなく、さまざまな年齢層の方々が主体となって、「参考作品」としてこの活動に参加されています。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
島根	10	18	96	あおき探検隊/戸田っ子団/里方元気君サイダー/八日市地域づくりの会/島根県松江市 くもづっ子クラブ/ 石西防災研究所上市ぼうさい探検隊/地域自主組織 新市いきいき会/ばっこす/大灘町内会/ 島根県松江市立鹿島東小学校
岡山	7	13	101	ガールスカウト岡山県連盟第11団/チンチラ探検隊/リラクマ探検隊/ YMCAせとうち グローバルアフタースクール/西大寺探検隊/福江ぼうさい探検隊/岡山県倉敷市立川辺小学校
広島	3	14	100	広島県福山市: 新涯沖町内会/安北小防災探検隊/広島県呉市立昭和中央小学校
山口	5	28	141	チーム園田/山口県防府市立新田小学校/大西キッズ/仲良しトリオ/山口県下関市立向井小学校
徳島	6	18	83	徳島市助任地区なかよし組/阿波良場ぼうさい探検隊/徳島リベンジャーズ/徳島県鳴門市黒崎小学校/ 徳島県吉野川市立川島小学校/徳島県吉野川市立学島小学校
香川	6	15	48	マカロンホイップ/上高野小学校児童有志/牟礼北探検隊/香川県代協 CSR委員会/日本損害保険協会四国支部/ どりいみんぐアカデミー
愛媛	6	23	86	愛媛県宇和島市立奥南小学校/愛媛県東温市立 拝志小学校/けんこうブラザーズ/みさけ探検隊/ じょう探検隊/松山東雲探検隊
高知	4	4	24	宇津野探検隊/潮江探検隊/南海少年寮/高知県長岡郡本山町立本山小学校
福岡	12	35	199	長丘ぼうさい探検隊/もとおか探検隊/ふくつ探検隊/みやじ探検隊/北九州西防災/南薫チャレンジ子ども土 曜塾/もとおか探検隊/ひなかなゆう探検隊/くわばらキッズ/児童デイサービス・アニマートだざいふ/ 福岡県大牟田市立羽山台小学校/マーケットリンク探検隊
佐賀	4	6	10	防災そなえ隊/させほ探検隊/熊の子探検隊 熊川キッズ/ちびっこ探検隊 佐賀
長崎	5	8	145	石原ファミリー/千年ファミリー/長崎県長崎市立戸町小学校 戸町学童保育たけのこクラブ/ 石井ファミリー/チャイルドハート大波止
熊本	3	3	9	熊本県八代市立代陽小学校 本町三丁目子ども会/ひとよし防災ワクワク組/託麻南小校区第2町内子ども会
大分	3	8	48	春日町探検隊/ポラリス 児童クラブ/吉野児童育成クラブ
宮崎	7	7	54	島之内キッズ/大淀探検隊/小松台ぼうさいキッズ/鶴島一松橋探検隊/ 社会福祉法人 愛育福祉会 こぼと児童クラブ/三松探検隊/社会福祉法人ゆりかご福祉会ゆりかご WEC児童クラブ
鹿児島	8	27	144	T・Kキッズ/鹿児島防災キッズ/エイト探検隊/鹿児島県鹿児島市立西田小学校/ガールスカウト鹿児島第7団/ もちー's/株式会社 武田屋/鹿児島県十島村立中之島小・中学校
沖縄	27	62	308	ニーズスター/いしかわ児童館/グランマーレ東浜ワイズ/沖縄県那覇市立 真地小学校/ 社会福祉法人ちくば福祉会ちくば学童クラブ/沖縄県浦添市立西原児童センター/にしぎき学童クラブ/ 壺屋児童館/浦添市立森の子児童センター(防災キッズ)/(社)沖縄学童っ子 北美っ子学童クラブ/ 沖縄県浦添市立うらそえぐすく児童センター/古蔵っ子探検隊/北山学童/なはっ子チーム/ 志茂田児童クラブ/なないろ児童クラブ2/なないろ児童クラブ/ひばり放課後児童クラブ/ 沖縄市高原子供会/沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター/平一放課後児童クラブ/宇根姉弟/ 一般社団法人 豊崎児童クラブ/豊崎学童クラブ/沖縄県うるま市立田場小学校/那覇市若狭児童館/ 沖縄県那覇市立古蔵小学校



過去の入選作品

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体(第13回～第17回まで)

※「」内はチーム名です。

参加団体数・マップ数・児童数	第13回(2016年度)526団体(235校・291団体) 2,871作品 19,158名	第14回(2017年度)538団体(218校・320団体) 2,582作品 16,370名
文部科学大臣賞	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (1～6年生/三重県)	坂井市立平章小学校 「平章小学校5年お城チーム」 (5年生/福井県)
防災担当大臣賞	愛南町立中浦小学校 「中浦っ子みんなの命守り隊 尻貝チーム」 (3、5、6年生/愛媛県)	三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」 (1～6年生、中学2年生/香川県)
消防庁長官賞	本田消防少年団 「本田消防少年団」 (1～6年生/東京都)	札幌市豊平区月寒少年消防クラブ 「月寒ぼうさい探検隊 New Generation」 (2～4、6年生/北海道)
まちのぼうさいキッズ賞	愛南町立家串小学校 「家串スターズ」 (3、4年生/愛媛県)	富士見キッズ 「チーム4年」 (4年生/東京都)
気象庁長官賞	かほく市子ども会高松支部内高松子ども会 「内高松子ども会」 (6年生/石川県)	亀崎学区少年消防クラブ 「亀っ子防災探検隊」 (1、3～5年生/広島県)
キッズリスクアドバイザー賞	富士見キッズ 「青緑チーム」 (3年生/東京都)	学童保育ひまわりクラブ 「ひまっしー隊」 (1、2、4、5年生/静岡県)
未来へのまちづくり賞	糸満市立糸満南小学校 「糸満南っ子ちゅらさん探検隊」 (4、5年生、年中/沖縄県)	西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ 「こすもす探検隊」 (3～5年生/福島県)
わがまち再発見賞	札幌南区川沿少年消防クラブ 「みなみっくマ調査隊」 (2～6年生/北海道)	愛南町立家串小学校 「家串カルテット」 (3年生/愛媛県)
ぼうさい探検隊賞	亀崎学区少年消防クラブ 「亀崎学区少年消防クラブ」 (3～6年生、年長/広島県)	一関市中里放課後子ども教室 「中里青ぼうし安全探検隊」 (5年生/岩手県)
審査員特別賞	相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブかもめクラブ 「かもめ防災探検隊」 (3年生/福島県)	札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿ジュニア山岳隊」 (1～6年生/北海道)
	ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53」 (1～4、6年生/神奈川県)	相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブかもめクラブ 「かもめ防災探検隊」 (3年生/福島県)
	かほく市子ども会宇ノ気支部 指江子ども会 「指江子ども会」 (6年生/石川県)	鹿嶋市立平井小学校 「平井っ子防災クラブ SP」 (4、6年生/茨城県)
	堺市立東深井小学校 放課後ルーム 「東深井 sister's」 (4～6年生/大阪府)	ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53」 (2、3、5年生、年長/神奈川県)
	かつらぎ町立丁ノ町児童館 「かつらぎ防災ガールズ」 (6年生/和歌山県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (1～6年生/三重県)
	串本町立古座小学校 「中湊なかよしたんけんたい」 (4年生/和歌山県)	愛南町立東海小学校 「東海14」 (1、3～6年生/愛媛県)
	三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」 (1～4年生、中学1年生/香川県)	浦添市立 宮城っ子児童センター 「みやぎっこパトロールたい」 (1～3年生、年長/沖縄県)
	愛南町立城辺小学校 「城の辺守り隊7」 (5年生/愛媛県)	糸満市立 糸満南小学校・糸満南幼稚園 「糸満南っ子ちゅらさん探検隊」 (4～6年生、年長/沖縄県)

第15回(2018年度) 566団体(271校・295団体) 2,865作品 17,983名	第16回(2019年度) 594団体(240校・354団体) 2,541作品 16,492名
南宇和郡愛南町立家串小学校 「家串ドリームチーム」 (5、6年生/愛媛県)	宇和島市立三浦小学校 「防災キッズ TOYOURA 4」 (4、5年生/愛媛県)
相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」 (3年生/福島県)	かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会 「内高松子ども会」 (6年生/石川県)
本山町立吉野小学校 「寺家チーム」 (5、6年生/高知県)	豊田市立足助小学校 「足助の安全・安心を守るたんけん隊」 (4年生/愛知県)
ガールスカウト奈良県第22団 「ジュニア部門「メジロパトロール」」 (4～6年生/奈良県)	本山町立吉野小学校 「少年少女防災探検隊」 (5、6年生/高知県)
富士見キッズ 「Chipika」 (2、3年生/東京都)	三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」 (1～6年生/香川県)
三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」 (1～6年生/香川県)	岡山市立宇野小学校 原尾島チーム 「宇野小学校 原尾島チーム」 (3、5年生、中学1年生/岡山県)
那覇市立城東小学校 「ちゅらっこ城東」 (6年生/沖縄県)	横浜市立汐見台小学校 「汐見台パトロール隊」 (6年生/神奈川県)
愛南町立東海小学校 「東海9」 (2、4～6年生/愛媛県)	北川ブラザーズ 「北川ブラザーズ」 (5年生/三重県)
レンジャー探検隊 「レンジャー探検隊」 (3、5年生/茨城県)	足立区立西新井小学校 「西新井小学校 水色チーム」 (5年生/東京都)
札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」 (1～6年生、中学生/北海道)	札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来見守り隊」 (1～6年生、中学1、2年生/北海道)
矢巾町立徳田小学校北郡山子ども会 「北郡山子ども会 1班」 (1～4年生/岩手県)	西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ 「こすもす探検隊」 (4、5年生/福島県)
新潟市立白山小学校 「白山安全まもり隊」 (3、5年生/新潟県)	富士見キッズ 「Chipika」 (3、4年生/東京都)
横浜市立汐見台小学校 「汐見台パトロール隊」 (5年生/神奈川県)	松本市 島内子ども会育成会 「チームしまうちっ子」 (3～6年生/長野県)
加賀市立金明小学校 「金明安全・安心守り隊」 (4年生/石川県)	阿南市立津乃峰小学校 「つのみね小3年生」 (3年生/徳島県)
かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会 「内日角キッズポリス」 (6年生/石川県)	『街角の、危険なヒヤリ!ハット!』探検隊 「『街角の、危険なヒヤリ!ハット!』探検隊」 (4年生/熊本県)
鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (1、3～6年生、年中、年長/三重県)	豊見城市なないろ児童クラブ2 「ウォーターZグループ」 (3、4年生/沖縄県)
京都市葵児童館学童クラブ3～6年生・京都府立洛北高校生徒会 「葵児童館安全探検隊」 (3～6年生、高校生/京都府)	豊崎学童クラブ 「とよさきこうえんまもりたい」 (1、2年生/沖縄県)



過去の入選作品

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体(第13回～第17回まで)

※「 」内はチーム名です。

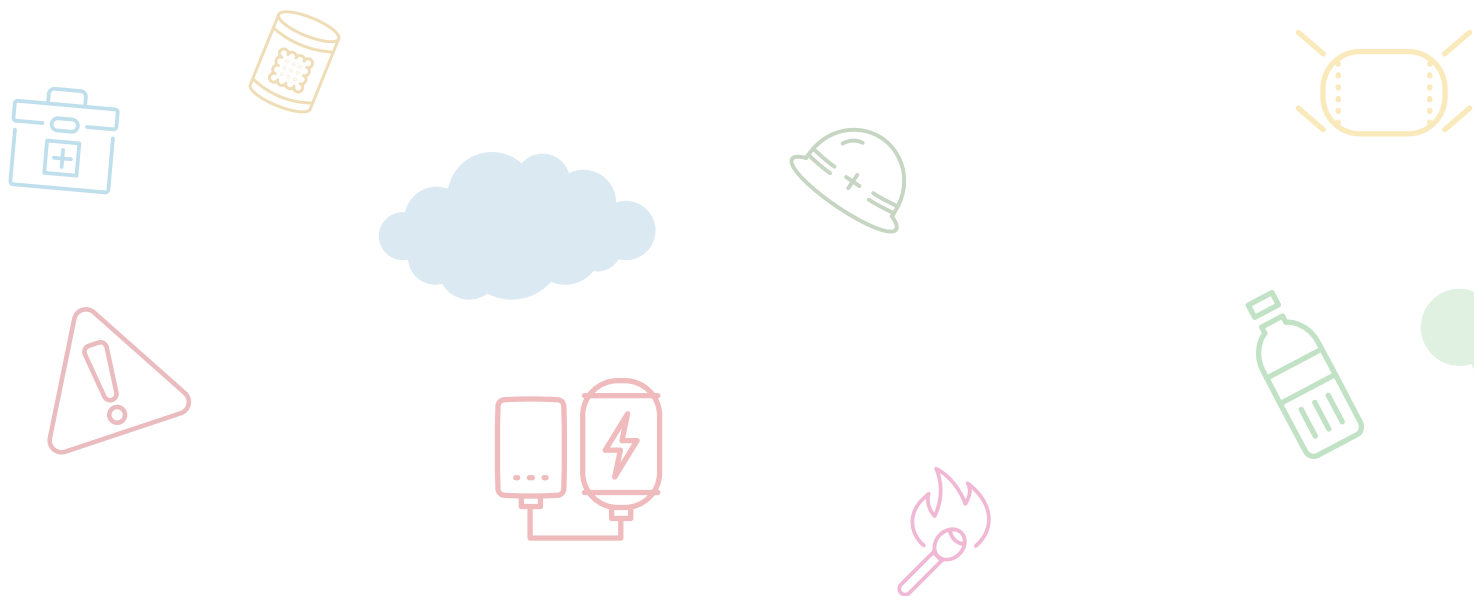
参加団体数・マップ数・児童数	第17回(2020年度)307団体(76校・231団体)960作品 5,519名
文部科学大臣賞	北川家 「北川ブラザーズ」(6年生/三重県)
防災担当大臣賞	愛媛県宇和島市立三浦小学校 「防災キッズ ファイブスター」(3,4年生/愛媛県)
消防庁長官賞	北海道札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」(2～6年生/北海道)
まちのぼうさいキッズ賞	福島県相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」(3年生/福島県)
気象庁長官賞	東京都足立区立西新井小学校 「西新井小学校」(5年生/東京都)
キッズリスクアドバイザー賞	岡山市立宇野小学校 原尾島チーム 「宇野小学校 原尾島チーム」(4,6,中学2年生/岡山県)
未来へのまちづくり賞	北海道奥尻町立青苗小学校 「奥尻町 青苗小3・4年 ぼうさいキッズ」(3,4年生/北海道)
わがまち再発見賞	沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター 「スマイルフラワー」(5,6年生/沖縄県)
ぼうさい探検隊賞	福井県小浜市立雲浜小学校 「雲浜防災マップ作り隊」(3年生/福井県)
審査員特別賞	中里放課後子ども教室 「中里放課後子ども教室」(4年生/岩手県)
	西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ 「こすもす探検隊」(4年生/福島県)
	公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ 「向丘小学校わくわくプラザ子どもリーダー」(1～3,5年生/神奈川県)
	ガールスカウト山口県第3団 「ガールスカウト山口県第3団ブラウニー(3年生)」(3年生/山口県)
	愛媛県愛南町立船越小学校 「船越防災隊」(3,4,6年生/愛媛県)
	高知県佐川町立斗賀野小学校 「犠牲者なくそう防災チーム」(6年生/高知県)
	社会福祉法人 愛育福祉会 こぼと児童クラブ 「こぼと探検隊」(2年生/宮崎県)
デジタルマップ特別賞 (第17回の賞名はデジタルチャレンジ賞)	豊崎学童クラブ 「豊見城安全守りたい」(1～4年生/沖縄県)
	加美消防署西部分署 「どどんこぱっく」(5年生/宮城県)
	ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53」(3～6年生、中学1年生/神奈川県)
	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(1～6年生/三重県)
	徳島県阿南市立橘小学校 「ぼうさいさんぽ3班」(3年生/徳島県)
豊見城市なないろ児童クラブ 「なないろキングス」(3年生/沖縄県)	

これまでの18年間のマップコンクールにおいて、継続的にご応募いただいている小学校・団体(18回のうち11回以上のご参加)は以下のとおりです。

応募回数	学校・団体名
18回連続	愛知県豊田市立足助小学校
17回	福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊/ 鳥羽市安楽島子ども会
16回	ガールスカウト大阪府第21団
15回	ガールスカウト静岡県第34団/ガールスカウト神奈川県第53団
14回	社会福祉法人ゆりかご福祉会ゆりかごWEC児童クラブ
13回	(該当なし)
12回	かもっこ 放課後子ども教室/相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ/安曇野防犯協会連合会
11回	那覇市若狭児童館/ガールスカウト静岡県第24団/なないろ児童クラブ2/ 和歌山県有田郡広川町立広小学校

今後もぜひ、定期的・継続的な活動として取り組んでいただければ幸いです。





一般社団法人 日本損害保険協会 会員会社一覧

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
 アイペット損害保険株式会社
 アクサ損害保険株式会社
 アニコム損害保険株式会社
 イーデザイン損害保険株式会社
 A I G 損害保険株式会社
 エイチ・エス損害保険株式会社
 S B I 損害保険株式会社
 a u 損害保険株式会社
 キャピタル損害保険株式会社

共栄火災海上保険株式会社
 さくら損害保険株式会社
 ジェイアイ傷害火災保険株式会社
 セコム損害保険株式会社
 セゾン自動車火災保険株式会社
 全管協れいわ損害保険株式会社
 ソニー損害保険株式会社
 損害保険ジャパン株式会社
 大同火災海上保険株式会社
 東京海上日動火災保険株式会社

トーア再保険株式会社
 日新火災海上保険株式会社
 日本地震再保険株式会社
 ペット&ファミリー損害保険株式会社
 三井住友海上火災保険株式会社
 三井ダイレクト損害保険株式会社
 明治安田損害保険株式会社
 楽天損害保険株式会社
 レスキュー損害保険株式会社
 2022年1月現在 (会員会社29社 50音順)

一般社団法人 **日本損害保険協会** 〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9 URL <https://www.sonpo.or.jp/>
 業務企画部 啓発・教育グループ TEL : 03-3255-1215 FAX : 03-3255-1236

